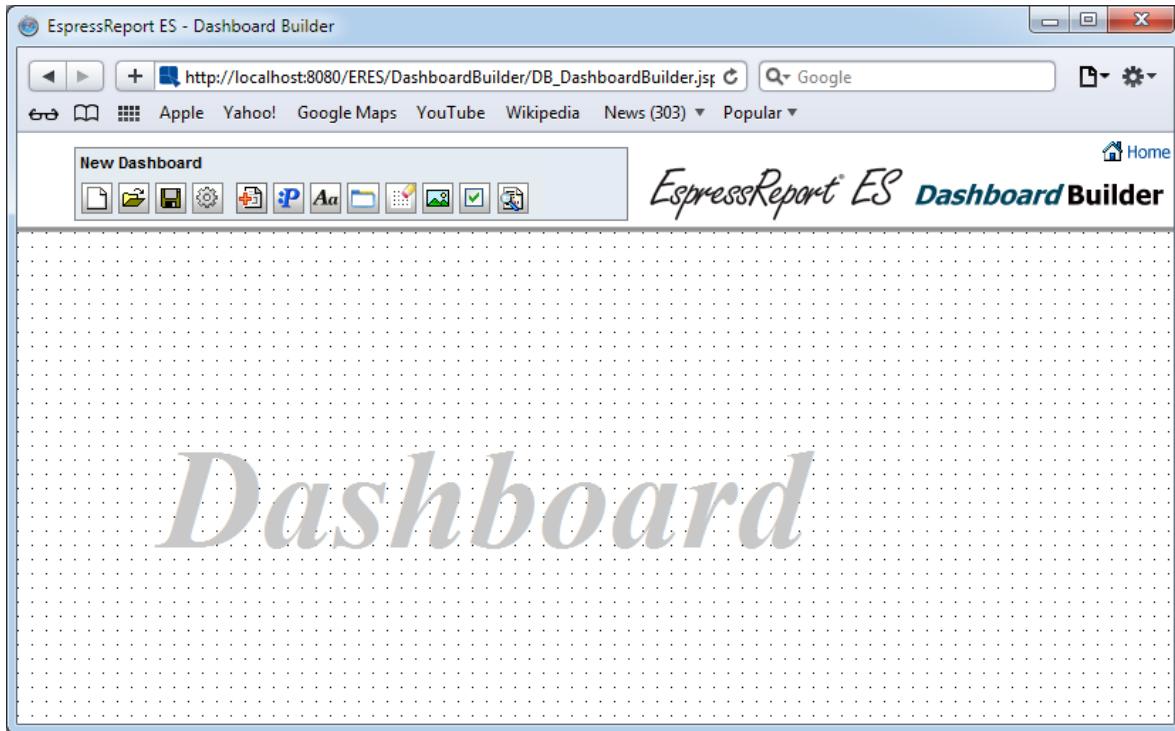



実習 47 : ダッシュボードの作成

ステップ1 : 「Dashboard Builder」の開始


1. ERES のスタートページでプライマリ・ユーザーとしてログインします。
2. 右側パネルで「Launch Dashboard Builder」のリンクをクリックします。「Dashboard Builder」インタフェースに移行し、ダッシュボードを作成するレポートとチャートを使用します。



ステップ2 : テンプレートの追加

1. 「Add Report/Chart/Map」  ボタンをクリックします。フォルダクリックでフォルダを拡張します。以前の実習で作成されたレポートとチャートが表示されます。
2. “CategorySales”、“ProductSales”、“3DStackColumn”のテンプレートを一つずつクリックし、ダッシュボードに追加します。
3. テンプレートのヘッダーバーへドラッグし、グリッド上にテンプレートを整理します。

ステップ3 : 共有パラメータの追加

1. 「Shared Parameters」  ボタンをクリックし、「Shared Parameters」ダイアログが開きます。「Add Share」ボタンをクリックしますと、ダイアログが開き、ダッシュボードに追加された全てのチャートのパラメータが表示されます。
2. 各テンプレート“3DStackColumn”、“ProductSales”、“CategorySales”の“StartDate”パラメータを選択し、「Add」ボタンをクリックします(一つずつまたは複数の項目選択で追加可能)。共有パ

ラメータ名として“StartDate”を指定します。「Prompt Name」フィールドに“Start Date:”を入力し、「Ok」ボタンをクリックし保存します。

Shared Parameter Name: StartDate

Available Parameters

- 3DStackColumn - StartDate (Date)
- 3DStackColumn - EndDate (Date)
- ProductSales - Region (String)
- ProductSales - CategoryName (String)
- ProductSales - StartDate (Date)
- ProductSales - EndDate (Date)
- CategorySales - StartDate (Date)
- CategorySales - EndDate (Date)

Selected Parameters

- 3DStackColumn - StartDate (Date)
- ProductSales - StartDate (Date)
- CategorySales - StartDate (Date)

Add >>

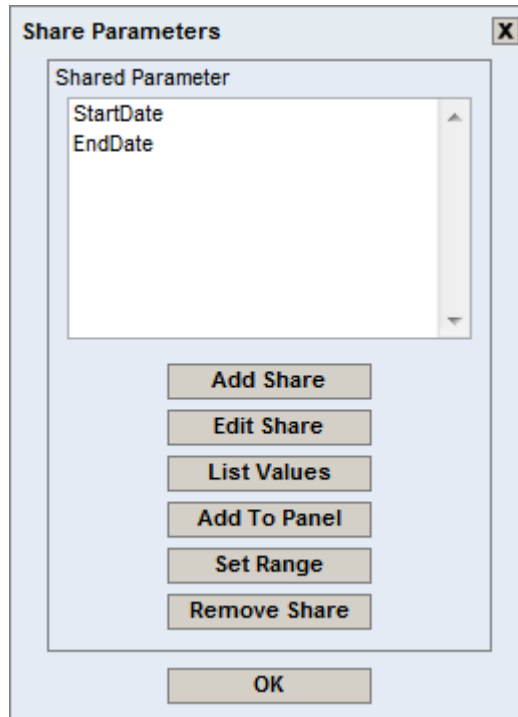
<< Remove

Prompt Name: Start Date:

Default Value: 2002-12-14

Ok Cancel

3. 以前のステップと同じように、その3つのテンプレートの“EndDate”パラメータを追加します。
4. 「Shared Parameters」ダイアログに2つの共有パラメータが表示されます。



ステップ 4 : パラメータ範囲の作成

1. 「Shared Parameters」  ボタンをクリックします。(「Shared Parameters」ダイアログが開いていない場合)。
2. “EndDate” と “StartDate” を同時に選択し (「CTRL + クリック」 または 「SHIFT + クリック」) 、 「Set Range」 ボタンをクリックします。
3. 「Range Name」 フィールドに “DateRange” を入力し、 「Prompt Text」 フィールドに “Select Year:” を指定します。
4. 「Option Name」 フィールドに “2001” を入力し、 “StartDate” パラメータの下の 「Expression」 フィールドに “2001-01-01” を指定します。
5. 2 番目のパラメータ “EndDate” の 「Expression」 フィールドに “2001-12-31” を指定し、 「Add>>」 をクリックします。
6. 「Option Name」 と 2 つの 「Expression」 フィールドに年を 2001 から 2002 に変更し、 「Add>>」 ボタンをクリックします。
7. 以前のステップと同じように、2003 を指定し追加します。

Range Param Attributes

Range Name: Prompt Text:

Range Variable Detail

Option Name:

First Param:

Expression:

Second Param:

Expression:

Predefined Range Variables

- This Year
- This Month
- This Week
- This Quarter
- Today
- Yesterday
- Tomorrow
- Year to Date

Selected Range Variables

- 2001
- 2002
- 2003

Buttons: Add >>, Copy, << Remove, Up Arrow, Down Arrow

Allow Custom Range Settings

Enable Submit Button

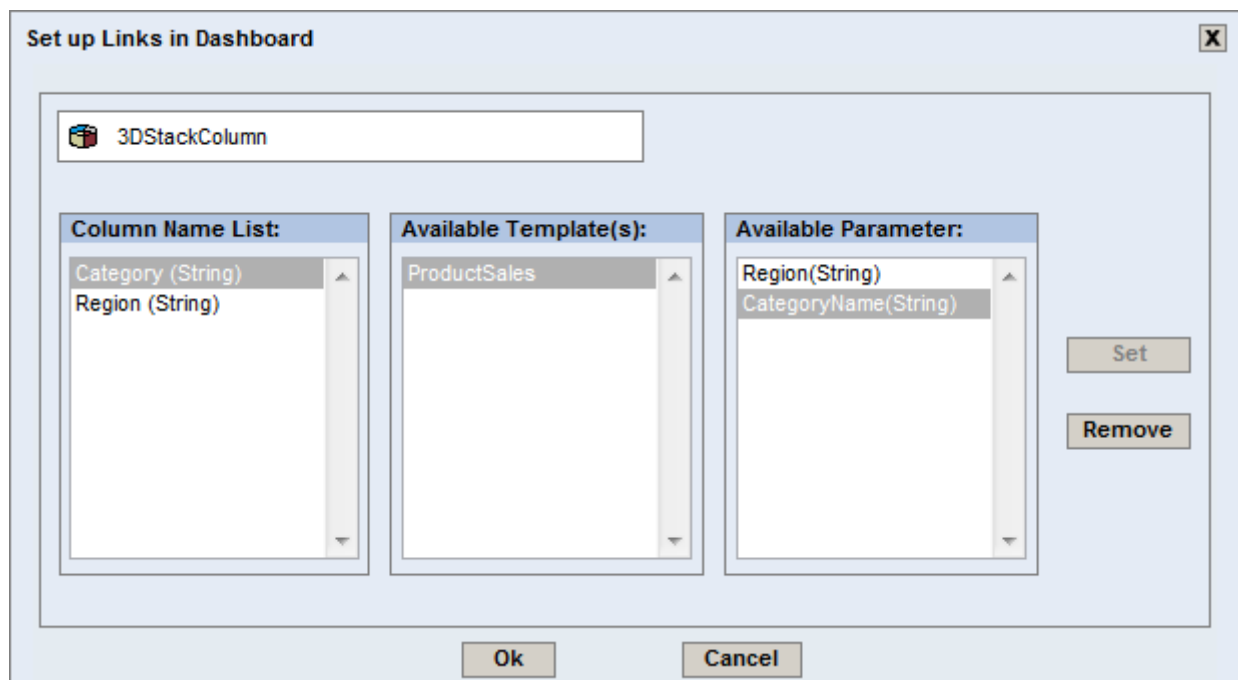
Submit Button Text:

Buttons: Ok, Cancel

- 「Allow Custom Range Settings」のチェックを外します。
- 「Ok」ボタンをクリックし指定したパラメータ範囲を保存します。
- Dashboard Builder ウィンドウでマウスポインター近くに四角が表示されます。ダッシュボード内にクリックしたら、パラメータ範囲パネルが投入されます。


ステップ 5 : テンプレートのリンクセットアップ

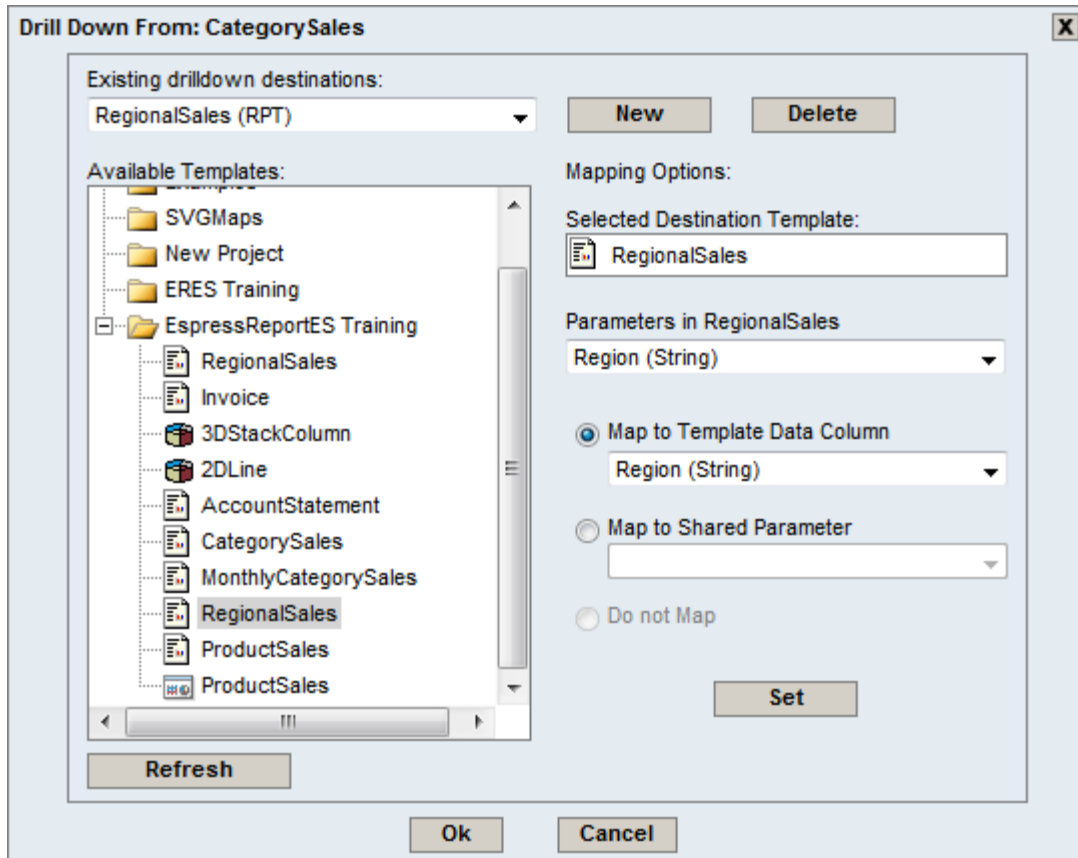
- ダッシュボードに配置された“3DStackColumn”チャートのヘッダーバーに「Add/Modify Link」アイコンをクリックします。
- 「Column Name List」の“Category (String)”を選択します。
- また、「Available Template(s)」の“ProductSales”を選択します。
- 最後に、「Available parameters」の“CategoryName (String)”を選択します。
- 「Set」ボタンをクリックしてから、「Ok」ボタンをクリックします。




6. 同じように、“Region” - “ProductSales” - “Region” の組み合わせでステップ 1～5 を行います。

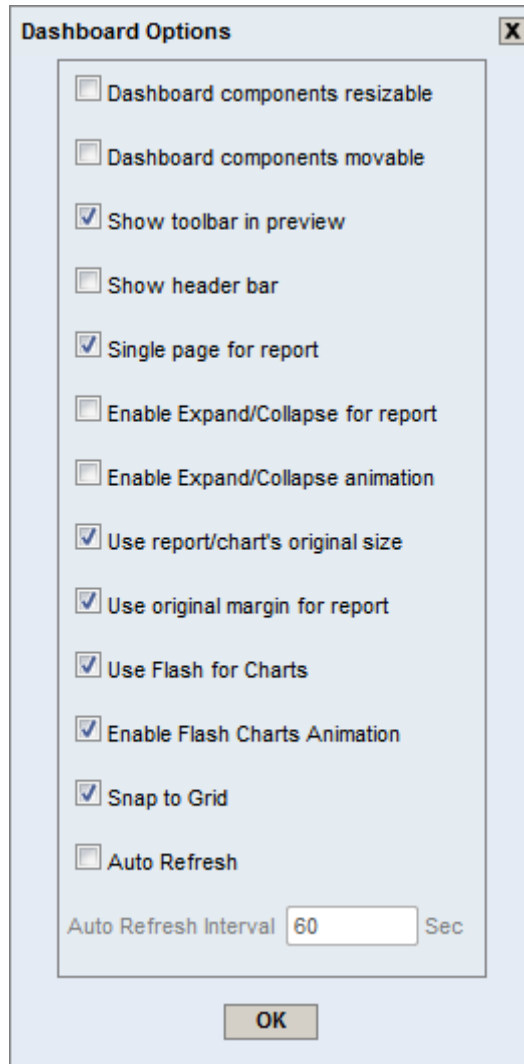
ステップ 6 : ドリルダウン (Drill-down) のセットアップ

1. ダッシュボードに配置された “CategorySales” レポートのヘッダーバーの 「Add/Modify DrillDown」  アイコンをクリックします。
2. 「Available Templates」 ツリーリストで該当するプロジェクトをクリックし、“Regional Sales” レポートを選択します。
3. 「Map to Template Data Column」 オプションを選択し、ドロップダウンメニューで “Region (String)” を選択します。
4. 「Set」 ボタンをクリックしてから、「Ok」 ボタンをクリックします。




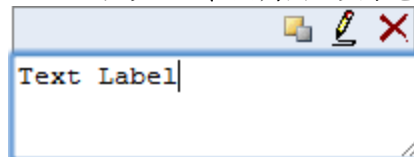
ステップ7：ダッシュボードオプションの変更


1. 「Options」  ボタンをクリックします。
2. 「Show header bar」のチェック外します。
3. 同じように、「User report/chart's original size」と「Use original margin for report」のチェックを外します。
4. 「Use Flash for Charts」と、「Enable Flash Charts Animation」をチェックし、「Ok」ボタンをクリックします。



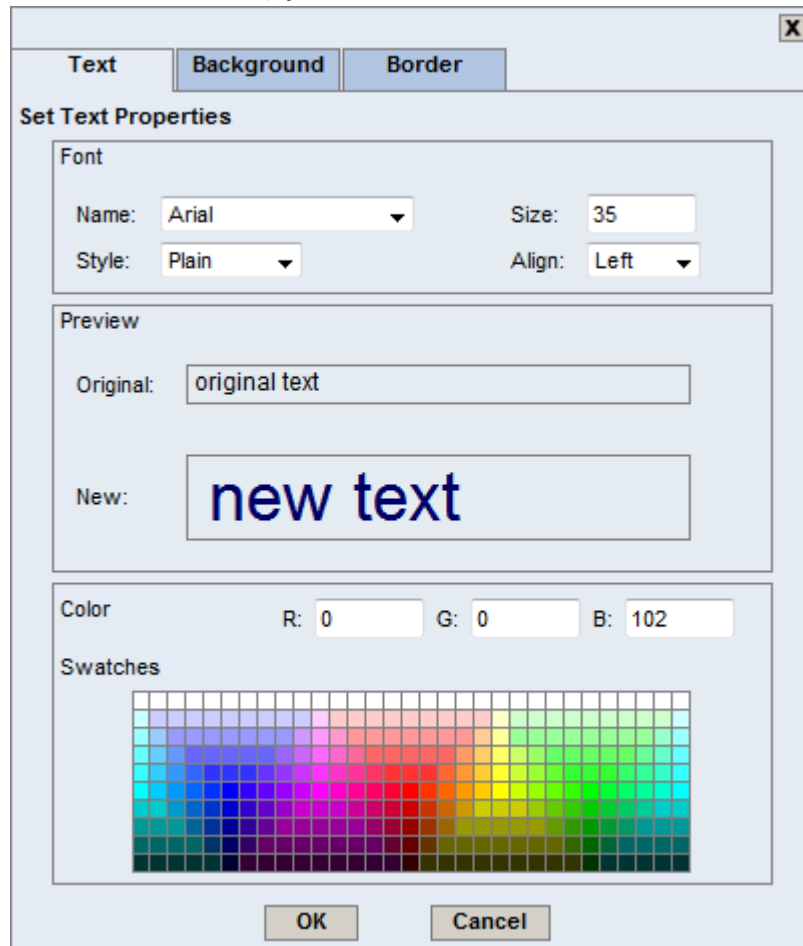
ステップ 8 : ラベルの投入

1. 「Insert Label」  ボタンをクリックします。
2. **Dashboard Builder** ウィンドウでマウスポインターの近くに四角が表示されます。レポート内にクリックしますと、ラベルが投入されます。
3. “Text Label”のテキストをダブルクリックし、四角内で文字を編集します。




4. ラベルのテキストを“Product Sales”に変更し、ダッシュボード内でクリックし、テキストを保存します。
5. ラベルのヘッダーバーの「Edit」  アイコンをクリックします。

6. フォントサイズを 35 に変更し、カラー・スウォッチ(Color Swatches)からダッシュボードに適したフォントカラーを選択します。




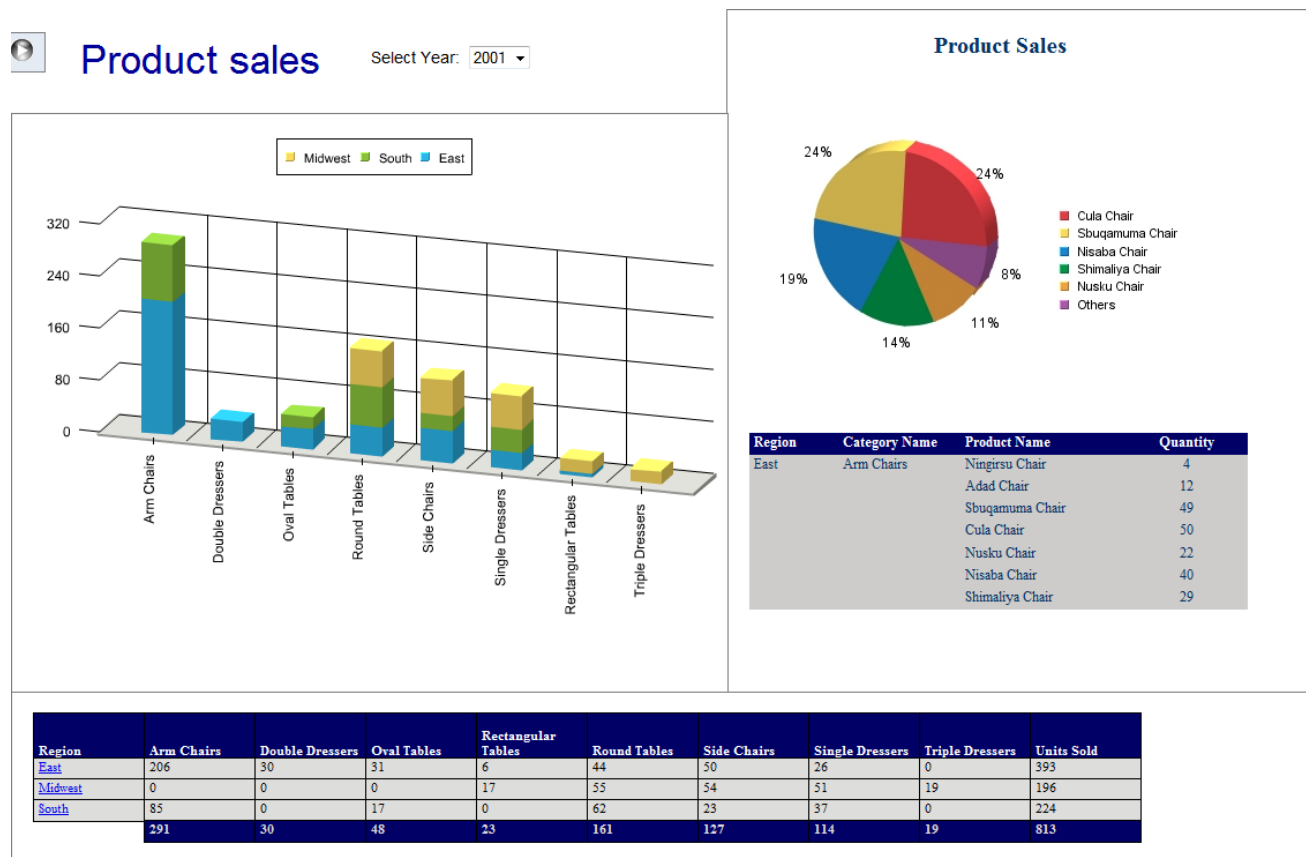
7. 「Border」タブに移行し、ボーダーのスタイルを「none」に指定、「OK」ボタンをクリックします。
8. ラベルの右下隅をドラッグしながらラベルのサイズを変更します。

ステップ 9 : チューニング

1. パラメータ範囲パネルに移行し、ヘッダーバーの「Modify Panel Attributes」アイコンをクリックします。
2. 「Border」タブに移行し、ボーダーのスタイルを「none」に指定、「Ok」ボタンをクリックします。
3. 各オブジェクトのヘッダーバーをドラッグし、ダッシュボードのテンプレートを再整理します。


ステップ 10 : ダッシュボードのプレビュー

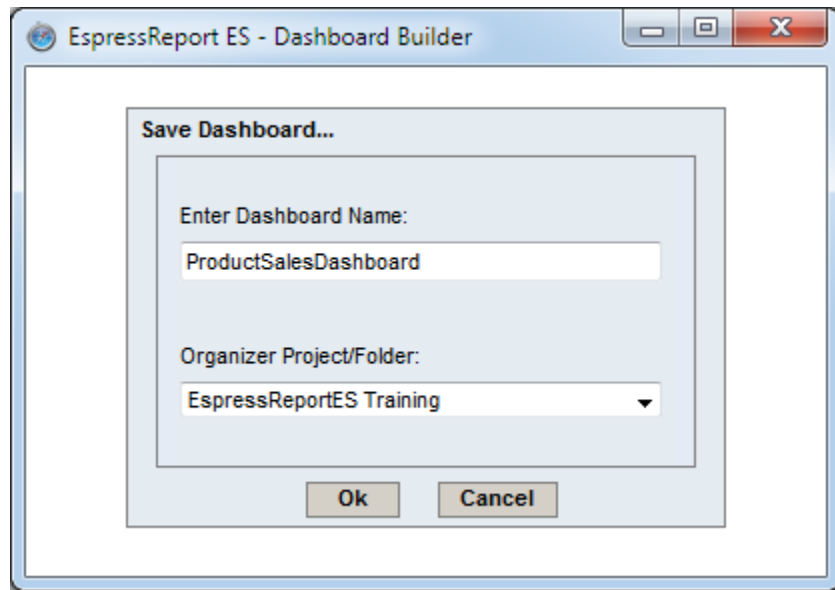
1. 「Preview」  ボタンをクリックします。
2. 新しいウィンドウが開き、ダッシュボードが表示されます。



3. “3DStackColumn” チャートでカラムの一部（セグメント）を選択すると、“ProductSales”レポートの表示が変更され、選択した”Category”と”Region”の該当するデータが詳細レポートに反映されます。以前にセットアップしたテンプレートにより、この操作が行えます。
4. “CategorySales” のクロスタブ(Cross-tab)レポートで該当する”Region”の項目を選択すると、新しいウィンドウで選択した項目の該当する詳細レポートが表示されます。以前にセットアップしたドリルダウン(Drill-down)レポートにより、この操作が行えます。
5. 最後に、パラメータ範囲パネル（「Select Year」フィールド）で該当する年を選択します。全てのテンプレートが共有パラメータを利用している為、全てのダッシュボードのテンプレートがリロードされます。

Step 1 1: ダッシュボードの保存

1. プレビューウィンドウを閉じ、Dashboard Builder ウィンドウに戻ります。「Save」  ボタンをクリックします。
2. ダッシュボード名として“ProductSalesDashboard” を指定します。
3. 「Organizer Project/Folder」メニューから該当するプロジェクトを選択します。



4. 「Ok」 ボタンをクリックし保存します。